

1 安心・安全について

(1) 子ども・子育て支援事業計画の推進

子ども・子育て支援事業計画の行動指針、2項目、その中の有害環境排除の推進について、地域パトロールの実施、規制自粛を促進する指導の強化とあるが、27年度の施策の実施状況、評価、成果と反省、28年度へどのように反映しているのか。また、特に力を入れた点は何か。

安全を守る防犯体制の強化の促進について、防犯パトロールの実施、不審者情報の伝達、街灯・防犯灯の設置及び点灯の働きかけ、‘子ども110番の家’普及のための啓発活動、公園の不審者対策の遂行とあるが、27年度の施策の実施状況、評価、成果と反省、28年度へどのように反映しているのか。また、特に力を入れた点は何か。

安全・安心な道路交通環境整備の推進について、道路整備事業の実施、交通事故多発箇所の改良、事故防止対策の取り組み、通学路の安全確認・安全確保とあるが、27年度の施策の実施状況、評価、成果と反省、28年度へどのように反映しているのか。また、特に力を入れた点は何か。

子ども・子育て支援事業計画を推進する中で、関係各課との調整や連携が十分図られたのか。27年度を振り返り施策展開・実施を総合的にどのように判断し評価をしているのか。

(2) 少年補導センターの見直し

少年補導センターの少年補導員と防犯委員の一人二役について、現状はどのような状況なのか。また、市の考え方は。

少年補導センターの少年補導員と防犯委員の組織の再編見直しについて、双方は、少年補導の部分の有無を除けば、活動の大小はあるが、共通する部分もあると考える。どちらかいうと防犯委員の活動が機動的に思われる。現在、市長部局の中で所管課が異なり取り組んでいるが、地域では交流センター中心の活動が加速化している。少年補導センターの少年補導員と防犯委員の所管課相互の連携の状況、組織の再編や見直しについての考え方、今後の方向性は。

2 磐田市の諸課題について

(1) 産業政策

商工会議所や商工会との連携・支援について、がんばる企業応援団は、企業と市との交流等を目的に年2回訪問し、市からの情報等の提供、企業からは雇用状況等の聞き取り、市への要望等は迅速な対応をしている。「オール磐田」の考えの中で、関係する商工会議所や商工会と連携を図っていると思うが、改めて連携・支援の状況と課題・問題点、今後の方向性は。

中心市街地の新たな活性化について、28年2月議会の一般質問で、磐田駅周辺の中心市街地活性化のソフト事業は、「28年度に検証し、地元商業者などとともに、できる取り組みを考えていきたい」とのこと。中心市街地の活性化等の新たな考え方は。

新産業振興計画は策定中で、第1次はコンサルが、第2次と今回の第3次は市職員が直営で策定している。直営の場合は、身近での情報収集、小回りも利く等で評価されると思う。新産業振興計画について、商工会議所や商工会との関わり、策定の考え方や進め方は。

(2) 公共施設等総合管理計画

平成28年2月議会の一般質問で「公共施設等総合管理計画の策定後、皆さんへの周知が重要で、所管課を決めてその中で重点的にやっていきたい」との答弁であった。今後40年間、ハコモノ等の更新費用約2,500億円、1年当たり約63億円はかかる。28年度の後半に個別具体について明確になると思うが、個別具体になる時期とそれまでのスケジュールは。

「所管課を決めてその中で重点的にやっていきたい」との答弁であったが、秘書政策課の役割と所管課（単独又は複数）の役割、双方の関わりや連携、計画の進め方と対応について、もう少し詳しい説明を。

公共施設等総合管理計画の展開に当り、見える化（一目で分かる中期的な地域別の計画の策定）とその予定時期は。

基本目標達成のため「財産管理、質、量」の3つの見直し方針がある。量の見直しで、ハコモノ施設等の延床面積約28.8%縮減とあるが、小中一体校が進展した場合の延床面積に及ぼす影響と更新費用への影響は。

(3) 文化財の保存管理

埋蔵文化財センターや歴史文書館などの収蔵スペースは飽和状態の中で、“新たな施設の建設は難しい、公共施設の空きスペースを活用したい”との中で今日まできたが、今年の3月に公共施設等総合管理計画が策定された。改めて収蔵について、公共施設の空きスペースを有効活用するなどの具体的な方策の方向性は。

電子公文書の管理について、平成26年11月の代表質問で、「市長部局の担当部署と歴史文書館の双方とも、より効果的な作業ができるよう協議しながら進めている」とあった。こうした中、28年1月の歴史文書館運営審議会で、電子公文書の管理について議論がされた。現状を見ると、総務課が主導で双方が早急に協議し結論を出し維持管理の方法を決めるべきと思うが、今後の方向性は。